

政 策 目 標	1	子どもの笑顔があふれる街						
重 点 課 題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実						
施 策 の 基 本 方 針								
未来を担う子どもたちが、健やかに夢や希望を持って育つ環境づくりを進めるため、札幌らしい学校教育や子どもの社会参加を積極的に進めるとともに、ひきこもりやニートの若者の社会的自立を支援します。また、子どもと家庭の相談窓口の充実や、不登校の子ども状況に応じた支援を行うほか、民間と積極的に連携して、子どもの育ちや学びを支える環境を整えます。								
計 画 事 業 費 の 執 行 状 況								
施策 番号	事 業 名	計 画 事 業 費	事 業 費(単位:千円)				合 計	進捗率 (%)
			23年度 (決 算)	24年度 (決 算)	25年度 (決 算)	26年度 (予 算)		
施策1 学びの意欲を育てる学校教育の推進								
	札幌らしい特色ある学校教育推進事業	36,000	6,499	5,663	7,839	11,306	31,307	87.0
	さっぽろ学校給食フードリサイクル	5,000	506	1,117	808	1,603	4,034	80.7
	子どもの読書活動サポート事業	13,000	2,667	2,619	2,744	3,444	11,474	88.3
	図書資源ネットワーク事業	46,000	2,571	3,218	2,218	4,103	12,110	26.3
	幼児絵本ネットワークセンター事業	9,900	5,991	819	874	861	8,545	86.3
	子ども読書チャレンジプロジェクト	28,000	6,908	6,982	6,390	6,840	27,120	96.9
	市立中高一貫教育校の設置	3,919,000	8,190	79,713	834,544	3,394,355	4,316,802	110.2
	人権教育推進事業	8,000	2,000	1,442	1,950	2,000	7,392	92.4
	国際理解教育推進事業(外国語指導助手配置)	180,000	18,000	36,000	54,000	74,000	182,000	101.1
	職業観育成事業【再掲】	20,000	2,980	3,580	3,580	5,000	15,140	75.7
施策2 健やかな育ちの推進								
	心のサポーター配置モデル事業	212,000	0	18,561	44,208	100,455	163,224	77.0
	スクールカウンセラー活用事業	60,000	10,246	12,608	15,756	18,180	56,790	94.7
	スクールソーシャルワーカー活用事業	14,000	2,092	3,138	4,184	5,180	14,594	104.2
	教育支援センターの設置	44,000	0	991	13,470	25,000	39,461	89.7
	子どもの学びの環境づくり	55,000	540	5,124	7,281	14,000	26,945	49.0
	一人一人が学び育つための教育的支援の充実	83,000	11,823	17,696	23,702	27,342	80,563	97.1
	子ども安心ホットラインの設置	42,000	5,545	9,676	9,932	10,370	35,523	84.6
	オレンジリボン協力員制度の創設	6,000	0	1,022	2,093	950	4,065	67.8
	区家庭児童相談室の設置および区役所と児童相談所の連携強化	9,000	0	2,562	3,120	4,101	9,783	108.7
	一時保護所の定員拡充・環境改善	387,000	0	3,675	9,045	16,000	28,720	7.4
	施設に入所している子への学習・就労支援	13,000	178	3,979	2,777	5,541	12,475	96.0
	家庭的な養育環境の整備	431,000	14,289	8,000	0	253,151	275,440	63.9

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

政 策 目 標	1	子どもの笑顔があふれる街						
重 点 課 題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実						
計 画 事 業 費 の 執 行 状 況								
施策 番号	事 業 名	計 画 事業費	事 業 費(単位:千円)				合 計	進捗率 (%)
			23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)		
施策3 子どもの権利の推進と自立を支援する環境づくり								
	子どもの権利の推進	30,000	7,204	6,652	11,360	6,179	31,395	104.7
	児童会館・ミニ児童会館における子ども運営委員会の活動支援	6,000	0	1,000	1,000	1,000	3,000	50.0
	ミニ児童会館等の新設【再掲】	535,000	66,232	182,250	142,787	161,000	552,269	103.2
	プレーパーク推進事業	12,000	2,433	2,940	3,755	4,000	13,128	109.4
	子ども学習農園の新設	55,000	0	2,297	25,569	15,900	43,766	79.6
	地域を支える子ども・企業連携事業【再掲】	6,000	1,231	1,313	1,261	650	4,455	74.3
	Kitaraファーストコンサートの実施	92,000	23,223	22,062	20,959	19,911	86,155	93.6
	子どものミュージカル鑑賞事業の拡充	2,000	0	558	2,423	2,509	5,490	274.5
	子どもの美術体験事業の拡充	10,000	2,500	2,375	2,256	2,143	9,274	92.7
	青少年科学館展示物整備事業	160,000	39,900	0	79,800	40,000	159,700	99.8
	ひきこもりやニートなど困難を有する若者の社会的自立支援事業	103,000	30,046	41,456	5,837	6,042	83,381	81.0
	合 計	6,631,900	273,794	491,088	1,347,522	4,243,116	6,355,520	95.8

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

政 策 目 標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重 点 課 題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実					
達 成 目 標 の 状 況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 学びの意欲を育てる学校教育の推進							
札幌らしい特色ある学校教育推進事業							
1 農業体験を実施した小中学校数		10校	20校	30校	30校		30校
さっぽろ学校給食フードリサイクル							
2 リサイクル堆肥を活用して栽培活動に取り組む学校数		74校	95校	115校	152校		202校
子どもの読書活動サポート事業							
3 学校図書館ボランティアの派遣校数		中学校92校	小中学校 185校	小中学校 185校	小中学校 185校		小中学校 185校
図書資源ネットワーク事業							
4 年間貸出冊数		－	845冊	617冊	977冊		30,000冊
幼児絵本ネットワークセンター事業							
5 絵本貸出冊数		－	921冊	2,887冊	3,347冊		6,000冊
子ども読書チャレンジプロジェクト							
6 幼児・児童1人あたりの年間児童書貸出冊数		10.4冊	11.0冊	10.8冊	10.0冊		13.0冊
市立中高一貫教育校の設置							
7 中高一貫教育校設置		－	準備	校舎設計	校舎建設		校舎竣工 (H27.4.1開校)
人権教育推進事業							
8 人権教育に関わる体験的な学習の実施校		85校	95校	109校	122校		120校
国際理解教育推進事業(外国語指導助手配置)							
9 ALTの配置数		58人	63人	68人	73人		78人
職業観育成事業【再掲】							
10 疑似体験プログラムを実施したクラス数		－	10クラス	12クラス	12クラス		18クラス

政 策 目 標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重 点 課 題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実					
達 成 目 標 の 状 況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策2 健やかな育ちの推進							
心のサポーター配置モデル事業							
11	心のサポーターの配置校	－	－	22校	45校		107校
スクールカウンセラー活用事業							
12	小学校への配置時間数	36時間	45時間	48時間	51時間		54時間
スクールソーシャルワーカー活用事業							
13	スクールソーシャルワーカーの配置数	3人	5人	6人	7人		8人
教育支援センターの設置							
14	教育支援センターの設置数	－	－	－	1カ所		2カ所
子どもの学びの環境づくり							
15	フリースクール等に対する支援のしくみの創設	－	検討中	制度創設			制度創設 (24年度)
一人一人が学び育つための教育的支援の充実							
16	特別支援教育支援員の活用校数	230校	243校	248校	255校		303校
子ども安心ホットラインの設置							
17	児童相談所における24時間365日の相談受付体制 の整備	－	整備	－	－		整備 (23年度)
オレンジリボン協力員制度の創設							
18	オレンジリボン協力員登録数	8,952人	9,827人	11,223人	12,549人		13,000人
区家庭児童相談室の設置および区役所と児童相談所の連携強化							
19	家庭児童相談室の設置	－	10区	10区	10区		10区 (23年度)
一時保護所の定員拡充・環境改善							
20	一時保護所の定員拡充	36人	36人	36人	36人		50人
施設に入所している子への学習・就労支援							
21	登録ボランティア数	－	19人	49人	58人		80人
22	就職希望者の内定率の向上	54.5%	54.5%	83.3%	80.0%		80%
家庭的な養育環境の整備							
23	ファミリーホームの設置箇所数	3カ所	4カ所	5カ所	6カ所		5カ所
24	児童養護施設の改築(ケア単位の小規模化)	－	－	－	－		1カ所

政 策 目 標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重 点 課 題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実					
達 成 目 標 の 状 況							
事業名		22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	26年度末
達成目標		(現状値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(目標値)
施策3 子どもの権利の推進と自立を支援する環境づくり							
子どもの権利の推進							
25	子どもサポーター養成講座受講者数	47人	104人	174人	176人		80人
26	子どもの権利推進アドバイザー派遣回数	9回	10回	17回	7回		24回
児童会館・ミニ児童会館における子ども運営委員会の活動支援							
27	子ども運営委員会事業参加延べ人数	37,706人	40,768人	42,178人	43,223人		47,000人
ミニ児童会館等の新設【再掲】							
28	放課後の居場所のある小学校区数	164校区	169校区	178校区	187校区		202校区
プレーパーク推進事業							
29	プレーパーク開催回数	－	年57回	年153回	年171回		年100回
子ども学習農園の新設							
30	体験農園利用学校数	20校	20校	20校	20校		25校
地域を支える子ども・企業連携事業【再掲】							
31	子ども一日まちセン所長数(累計)	－	18人	33人	58人		40人
32	地域と連携するコンビニ店舗数	－	164店舗	166店舗	176店舗		40店舗
Kitaraファーストコンサートの実施							
33	児童の参加率	96.3%	95.9%	98.1%	97.3%		現状維持
子どものミュージカル鑑賞事業の拡充							
34	希望した児童の鑑賞者の割合	91.9%	91.1%	91.8%	100%		100%
子どもの美術体験事業の拡充							
35	おとどけアート事業実施校数	3校	3校	3校	3校		現状維持
36	ハロー！ミュージアム事業実施校数	82校	160校	182校	175校		202校
青少年科学館展示物整備事業							
37	観覧者数	358,112人	373,619人	366,679人	65,304人 (11ヵ月間休館)		400,000人
ひきこもりやニートなど困難を有する若者の社会的自立支援事業							
38	若者支援総合センターの移転整備	－	移転先及びレイアウトの決定	整備			整備 (24年度)
39	若者支援総合センターにおける相談件数	2,706件	3,082件	4,341件	5,111件		4,500件

政 策 目 標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重 点 課 題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証		(現 状 値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	(目 標 値)
市民意識・行動指標							
9	学校で好きな授業があるという子どもの割合	87.4% (22年度)	93.0% (23年度)	81.0% (24年度)	92.1% (25年度)		95% (26年度)
		教員研修等の機会に、学ぶ意欲を含む「学ぶ力」の育成について普及啓発を推進したことなどが数値の上昇につながったと考えられる。					
10	子どもが自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると思う人の割合	子ども 42.4% 大人 55.4% (21年度)	子ども 60.9% 大人 57.3% (23年度)	子ども 60.5% 大人 63.9% (24年度)	子ども 62.7% 大人 60.7% (25年度)		子ども 60% 大人 60% (26年度)
		地域と連携し、子どもの創造性を喚起する様々な体験機会の提供を進めてきたことなどから、子ども・大人ともに目標を上回る数値となっていると考えられる。					
11	自分のことが好きだと思う子どもの割合	53.2% (21年度)	60.3% (23年度)	61.6% (24年度)	59.4% (25年度)		70% (26年度)
		子どもの体験活動や参加機会の拡充を進めてきたが、数値は微減となっている。子どもが地域社会に見守られ、信頼関係を築くことができる環境づくりを一層推進する必要がある。					
12	特別な配慮を要する子どもの支援体制が整っていると思う人の割合		34.3% (23年度)	38.3% (24年度)	39.5% (25年度)		60% (26年度)
		児童虐待への対応充実や、保護者から離れて暮らす子どもの生活空間や学習環境の整備・充実を図っているものの、こうした取組内容が市民に十分認知されていないことが数値が伸びない一因と考えられる。					
13	子どもの権利が守られていると思う人の割合	子ども 48.3% 大人 48.4% (21年度)	子ども 65.7% 大人 43.5% (23年度)	子ども 66.5% 大人 49.2% (24年度)	子ども 70.8% 大人 46.1% (25年度)		子ども 60% 大人 60% (26年度)
		子どもは目標を上回る数値となっているが、大人の数値は伸びていない。いじめや児童虐待などの子どもへの権利侵害に対し、行政のみならず市民が丸となってより一層取り組むことが重要である。					
社会成果指標							
14	学習や特別活動等で保護者や地域の人材等を活用している学校の割合	83.9% (22年度)	86.6% (23年度)	94.6% (24年度)	95.3% (25年度)		100% (26年度)
		札幌らしい特色ある学校教育のテーマ「雪」「環境」「読書」をはじめ、地域の特色を活かした活動をより一層充実したことが、数値の上昇につながったと考えられる。					
15	不登校児童・生徒の出現率	1.23% (22年度)	1.24% (23年度)	1.20% (24年度)	1.31% (25年度)		1.10%未満 (26年度)
		25年度は前年度を上回る状況となったことから、状況に合わせたきめ細かな支援の充実を図るとともに、未然防止や早期発見・早期対応を図る取組を進めることが重要である。					
16	児童虐待受付処理件数	478件 (22年度)	437件 (23年度)	435件 (24年度)	402件 (25年度)		430件 (26年度)
		区家庭児童相談室と児童相談所との連携強化などから、児童相談所における受付処理件数は減少し目標を達成したものの、いまだに400件を超える高い水準にある。					
17	困難を有する若者が自立に向けて支援機関を利用し、職業訓練への参加や進路決定した割合	45% (22年度)	49.1% (23年度)	51.0% (24年度)	46.5% (25年度)		55% (26年度)
		25年度の進路決定者数は前年度水準を維持しているものの、支援機関の認知度向上などにより、母数となる新規相談件数等が大幅に増加したため、割合は減少した。					

注：番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政 策 目 標	1	子どもの笑顔があふれる街	
重 点 課 題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実	
事 業 実 績 、 評 価 、 今 後 の 取 り 組 み 等			
施策1 学びの意欲を育てる学校教育の推進			
25年度の主な取組内容(実績)			
田植えや野菜収穫などの農業体験を30校で実施するなど、札幌らしい特色のある学校教育を推進。		全ての小中学校へ図書館ボランティア派遣し、読み聞かせなどを行うことで、読書活動の推進を図った。	
中高一貫教育校の建設工事を開始。また、具体的な教育内容や学校運営等の検討を進め、市民説明会を実施。		外国人指導助手(ALT)を5名増員配置。	
26年度の主な取組内容(予定)			
農業体験を30校で継続して行い、引き続き特色のある学校教育を推進。		引き続き図書館ボランティアの派遣を実施。	
27年4月の開校に向け、中高一貫教育校を竣工。		外国人指導助手(ALT)を5名増員配置。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価			
【札幌らしい特色ある学校教育推進事業】環境教育に係る学習活動や農業体験、学校・地域の特色を活かした取組の拡充により、体験的な活動を通じて子どもの学習意欲が高まり、「学校で好きな授業があるという子どもの割合」の増加につながっている。			
【子ども読書チャレンジプロジェクト】子どもの発育段階に応じた体験事業やイベントへの参加が、子どもが読書をするきっかけとなり、家庭や学校での読書推進の一助となっていると考えられる。			
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み			
【札幌らしい特色ある学校教育推進事業】農業体験の実施を継続するとともに、特色ある取組を行う学校を年々増やすことで、学校で好きな授業があるという子どもの割合の増加につなげていく。			
【国際理解教育推進事業】児童・生徒が授業を通して生きた英語に触れることによって、より一層学習への意欲・関心が高まるよう、ALTの配置方法の工夫・改善を図り、体験的な学習を通じた外国語教育を推進していく。			

政 策 目 標	1	子どもの笑顔があふれる街
重 点 課 題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実
事 業 実 績 、 評 価 、 今 後 の 取 り 組 み 等		
施策2 健やかな育ちの推進		
25年度の主な取組内容(実績)		
心のサポーターを配置(小学校5名、中学校40名)。	小学校へのスクールカウンセラーの配置時間を3時間増(計51時間)。	
リフレサッポロ内に教育支援センター白石を設置。	児童養護施設へ、学習支援を行う「スタディメイト」や就労支援にあたる「就労支援コーディネーター」を派遣。	
26年度の主な取組内容(予定)		
心のサポーターを配置(小学校10名、中学校97名)。	小学校へのスクールカウンセラーの配置時間を3時間増(計54時間)。	
ちえりあ内に教育支援センター宮の沢を設置。	児童養護施設へ、学習支援を行う「スタディメイト」や就労支援にあたる「就労支援コーディネーター」を派遣。	
老朽化の進む児童養護施設を、ケア単位の小規模化した施設に改築。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価		
【スクールソーシャルワーカー活用事業】対応した事案では家庭環境の改善等に大きな効果を挙げている例が多いが、対応が長期間に渡ることが多いため、支援を継続するとともに対応する事案の数を増やしていくことで、不登校児童生徒の状況改善を目指す。		
【施設に入っている子への学習・就労支援】児童養護施設において、学習支援や就労支援の体制が構築されたことで、特別な支援を要する子どもへの支援体制強化につながっている。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【心のサポーター配置モデル事業】現行のサポーター配置に加え、小学校に相談支援パートナーを配置するなど、不登校児童の早期発見や早期対応を目指す。		
【子ども安心ホットラインの設置】児童相談所や各区家庭児童相談室等と連携し、電話相談窓口である「子ども安心ホットライン」の広報を強化するとともに、電話相談のレベルアップを図り、支援体制を充実させていく。		

政 策 目 標	1	子どもの笑顔があふれる街
重 点 課 題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実
事 業 実 績 、 評 価 、 今 後 の 取 り 組 み 等		
施策3	子どもの権利の推進と自立を支援する環境づくり	
25年度の主な取組内容(実績)		
「さっぽろ子どもの権利の日」事業や子ども議会、子どもの権利委員会を開催。		プレーパーク実施団体への助成金交付や出前講座やプレーリーダー研修を実施。
申込みのあった全ての小学校(6年生)を対象に、ニトリ文化ホールでミュージカルの鑑賞機会を提供(197校、16,041名)。		小学校にアーティストを派遣し、直接触れ合うことができる「おとどけアート事業」を実施(3校、1,306人)。
困難を有する若者に対し、若者支援総合センターが中核となり、進路相談や就労支援を実施。		
26年度の主な取組内容(予定)		
子どもの権利について広報・普及等を継続するとともに、次期「札幌市子どもの権利に関する推進計画」策定を進める。		プレーパークの実施団体に対し、プレーリーダー派遣等活動支援事業の充実。
子ども学習農園(食育広場含む)」の整備工事を実施。		希望する全ての小学校(6年生)が鑑賞できるよう、引き続きニトリ文化ホールで実施。
「おとどけアート事業」を3校に実施。		困難を有する若者に対し、進路支援の継続や就労支援をサポートするボランティアの募集・育成により、伴走型支援を実施。
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価		
【児童会館・ミニ児童会館における子ども運営委員会の活動支援】「げんキッズ2014～とびだせ！じどうかいかん！～」の実施が、子ども運営委員会の活動のPRにも繋がり、「子どもが自然、社会、文化などの体験しやすい環境であると思う人の割合」の目標値達成につながっていると考えられる。 【子どもの美術体験事業の拡充】アーティストや作品に直接触れる機会を設けることで、子どもの芸術的な関心を高め、豊かな感性を育むことにつながっている。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【子ども学習農園の新設】25、26年度の2カ年で子ども学習農園を整備し、27年度から食農教育を実践できる場を提供することで、子どもが自然、社会、文化などの体験しやすい環境を拡充する。 【ひきこもりやニートなど困難を有する若者の社会的自立支援事業】関係機関及び企業・地域等との連携をより強化し、困難を有する若者に対し、職業体験や地域ボランティアによる個別サポートなど、社会的自立に向けた支援を行っていく。		
協 働 の 状 況		
【子どもの読書活動サポート事業】子どもへの読み聞かせなどを行う学校図書館ボランティアは、市民から参加を募って実施している。		
【子どもの学びの環境づくり】現行の補助制度に対する意見収集のため、フリースクール等民間施設にアンケートを実施し、効果的な制度の周知方法などを検討している。		
【施設に入所している子への学習・就労支援】大学生等の有償ボランティアが「スタディメイト」として学習支援を実施している。		
【子どもの権利の推進】子どもの権利委員会は、有識者のほか、高校生3名を含む計6名が公募委員として参加している。また、「子どもの権利の日事業」など子ども向け事業については、広報において表現活動を分かりやすくするなど、工夫した情報発信を行っている。		